

天皇誕生日祝賀レセプションでの代表挨拶（日本語）

2026年2月9日

蕭美琴・副総統、謝長廷・台湾日本関係協会会長、御来賓の皆様、御出席の皆様、こんばんは（華語、台湾語、客家語、日本語）。

天皇陛下は本年2月23日に66歳の誕生日を迎えられます。日本国憲法第1条は天皇を日本国及び日本国民統合の象徴と規定しています。現在、英語で“Emperor”と称される君主は日本の天皇のみとなりました。皆様とともに天皇陛下の誕生日を心よりお祝い申し上げたいと存じます。

昨年10月、日本では政権交替が行われ、初の女性総理が誕生しました。高市総理は昨日実施された総選挙で国民の信任を得られました。明確なことは、我が国にとって台湾の重要性は不変です。日台は基本的価値を共有するパートナーであり、主要な経済パートナーであり、文化・人的交流や災害協力を通じて心と心の繋がったパートナーであり、地域の平和と安定を共に希求するパートナーです。不透明性と不安定性を増す厳しい国際環境の中、このかけがえのない日台パートナーシップ関係の更なる発展に皆様とともに尽くしたいと存じます。

台湾に赴任して2年3ヶ月が経過しました。この間、22の直轄市、県、市すべてを訪問することができました。これらの訪問を通じて、台湾各地の自然、文化、歴史、風土、産業、そして何よりも、「台湾の最も美しい風景は人情」と言われるごとく、人々の暖かい心に触れる忘れがたい貴重な経験をすることができました。昨年の訪日台湾人数は延べ676万名と過去最高を記録しました。一方、訪台日本人数は増加しているとは言え、十分ではありません。台湾各地のこのような魅力を日本人の人々にもっと伝えていく努力を台湾側、そして日本人会や日本工商会と協力しながら共に展開していきたいと存じます。

世論調査によれば、台湾人の81%、日本人の75%が相手に対して親近感を持ち、76%の台湾人が最も好きな国として日本を挙げました。日本が地震、津波、感染症の被害や貿易・人的交流の制限を受けた際、台湾の皆さんのが日本に寄り添い、心温まる激励を寄せて下さったことを日本国民は決して忘れません。「まさかの友こそ眞の友」です。

日本と台湾は、防災・救災分野で共通の課題に直面しています。昨年、花蓮の堰止湖が決壊し甚大な被害が発生しました。その後、再度災害の可能性が懸念された際には、日本から水位観測機器が提供されました。

経済・貿易面では、5月に日本産牛肉月齢輸入制限が撤廃され、11月には福島第1原発

事故関連日本食品輸入規制の撤廃が実現しました。また、12月の貿易経済会議の機会に「日台デジタル貿易取決め」及び「地方税関の協力に関する日台覚書」が署名されました。

昨年の大阪・関西万博では台湾の生命、自然、未来をテーマにしたテックワールド館の来館者数は私自身を含め延べ110万人を超え、台湾の魅力と実力を世界に遺憾なくアピールし、最優秀展覧賞銅賞を受賞しました。来年は、国際園芸博覧会が開催されます。台湾の魅力を再び世界に伝える機会となることを期待しています。

昨年9月、日本に先駆けて政治大学に「安倍晋三研究センター」が設立され、賴清德総統や安倍昭恵夫人の出席を得て、開所式が挙行されました。同センターを拠点に、台湾における日本研究が促進され、若い世代の知的交流のプラットフォームとなることを大いに期待しております。

日台市民間の交流に加え、昨年日本の国会議員は、日台交流協会が把握しているだけでも延べ133名が訪台されました。例えば、高市総理が就任前の4月に、古屋会長他華懇の超党派国会議員約30名が双十節に訪台した他、自民党青年局代表団の訪問もありました。台湾からも韓国瑜立法院長をはじめ与野党立法委員の頻繁な訪日がありました。また、160近い自治体間で友好交流の提携が行われています。

2025年度、日台友好交流及び日本文化の発展に顕著な功績を残された台湾の方々6名に対し、日本政府から叙勲が行われました。その他、1名に外務大臣表彰が授与されました。特に、謝長廷・前駐日代表には旭日大綬章、王貞治・元プロ野球選手には文化勳章がそれぞれ皇居において天皇陛下から親授されました。改めて受賞者の皆様に心よりお祝い申し上げます。

来月には、WBC（ワールド・ベースボール・クラシック）が東京や米国各都市で開催されます。日台両チームが決勝戦で相まみえることを期待します。その時にはプレミア12の雪辱を果たしたいと思います。

最後に御報告ですが、陽明山にある公邸のリノベーションが本年夏頃に完了予定です。その暁には皆様を再び公邸に御招待できることを楽しみにしております。

本日のレセプションに協力頂いた日台双方の企業・団体、地方自治体等関係者に感謝申し上げます。御出席の皆様には日本の飲食文化をしばし楽しんで頂ければ幸いです。新年が皆様方、そして、日台関係にとり更に飛躍の年となることを祈念します。本日の御出席誠にありがとうございました（華語、台湾語、客家語、日本語）。